

ひょうご

子ども未来通信 12月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html



家庭応援県民大会を開催(11/13)

県内の地域団体・NPO や企業等 636 団体からなる「ひょうご家庭応援ネットワーク会議」が主体となって、家族のきずなを深め、地域で家庭を支える「ひょうご家庭応援県民運動」。その活動を広く発信するための県民大会が11月13日県公館で開催されました。

冒頭、井戸知事は「家庭の問題が地域、社会の問題になっている。もう一度家族・家庭について考えるとともに、地域ぐるみで家庭を助けよう」とあいさつ。

「家族の日」写真コンクールの表彰に続き、法政大学講師の小泉吉永さんが「江戸時代の子育てに学ぶ」と題して講演を行い、「子どもには教え込むのではなく、参り込ませる教育が必要」「親や年長者は子どもの模範であり、生涯学び続けることが大切」など、現代に活かせる子育ての秘訣をわかりやすく説明されました。

会場では、子どもや孫と楽しくコミュニケーションがとれる方法の解説や、簡単にできるマジックも紹介され、和やかな雰囲気の中で行われました。



(問) 県男女家庭室
078-362-3169



県内3団体が内閣府特命担当(少子化対策)大臣表彰を受賞

日頃子ども・若者や子育て家族を支援する活動に取り組み、顕著な功績のあった団体等を表彰する「子ども若者育成・子育て支援功労者」が国から発表され、県内から下記の3団体が受賞しました。



表彰式は11月22日に行われ、蓮舫内閣府特命担当(少子化対策)大臣より各団体の代表者に表彰状と記念品が手渡されました。

パニラシティ・イングリッシュセンター(森田充代 代表)
NPOと行政の子育て支援会議(米山清美 代表幹事)
社団法人兵庫県看護協会(大森綾子 会長)

(問) 県少子対策課 078-362-4232

ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰 ～10団体が受賞～

ひょうご仕事と生活センターは、仕事と生活のバランス実現に向け先進的な取組を進める企業の表彰を連合兵庫、県経営者協会と行っており、その表彰式が11月16日、県公館で行われました。

井戸知事は、「目覚しい成果を上げられた企業の皆様には他の企業の模範となって社会の先頭を切っただきたい」とあいさつ。その後、各団体に賞状と記念品が贈られました。



受賞団体と主な取組

大豊機工(株)	ワークライフバランスとコミュニケーション研修の計画的な実施
(株)オーシスマップ	月1度定時退社日を設定し、家族と共に過ごす日を実施
ケイオー開発(株)フローラルイン姫路	事業所内保育施設を整備し「まちの子育てひろば」として登録、育児相談等を実施
甲南大学生生活協同組合	女性リーダーの活躍による組織の活性化
光洋電気(株)	階層別勉強会によるコミュニケーションの円滑化と働きやすい職場環境づくり
医療法人中央会尼崎中央病院	勤務形態を見直し看護師の定着率を向上
(株)フェリシモ	男性も含めた育児休暇取得率向上の取組
(株)三井住友銀行芦屋ブロック	継続的な就労、スムーズな職場復帰を支援する「従業員サポートプログラム」を実施
(株)ユーシステム	残業時間を段階的に削減し、働きやすい職場環境づくりを推進
ヨドブレ(株)	時短の取組による意識改革とコミュニケーションの活性化

(問) ひょうご仕事と生活センター078-381-5277

但馬まるごと感動市で婚活イベント開催 (県立但馬ドーム11/12・13)

秋深まる神鍋高原に、但馬の美味しい食や物産、楽しいイベントが大集合する「但馬まるごと感動市」が11月12・13日の両日、県立但馬ドームで開催されました。

今年で2年目となる出会いイベント「夢は但馬で(コンカツ)」では、昨年のイベントで誕生した婚約中のカップルに、知事のお祝いメッセージが金澤副知事から手渡され、その後独身男女が楽しく歓談、交流しました。

会場では、絵本作家の永田萌さんによる大型絵本の読み聞かせや、お絵かきコーナーも行われ、多くの親子が秋の一日を楽しんでいました。



(問) 但馬県民局県民協働室
0796-26-3648

県では出会い支援事業を展開しています！

各種会員・団体大募集！

＜出会いイベント会員(無料)＞

協賛団体(企業)が企画・開催する出会いイベントに参加できます。

＜はばタン会員(有料:年度登録料3000円)＞

プロフィールを閲覧して、気に入った相手との個別のお見合い紹介を提供します。

☆出会いイベントを企画・開催する協賛団体(企業)も募集しています。

(問)ひょうご出会いサポートセンター(県青少年本部)078-891-7415

新ひょうご子ども未来プラン推進協議会を開催

県の少子対策・子育て支援の推進母体で、関係団体代表者等が集う「新ひょうご子ども未来プラン推進協議会」(会長:森茂起教授)が11月24日、県公館で開催されました。

冒頭、金澤副知事のあいさつの後、「新ひょうご子ども未来プランプログラム2011」に基づく少子対策・子育て支援の取組等について意見が交わされました。

委員からは、「子ども・青少年分野の兵庫県の取組は他県よりも進んでいる。更なる取組充実を期待している」「県の取組を広く全国に発信することが大切」など活発な意見が出されました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

ひょうご現代結婚事情フォーラム

現代若者の結婚支援方策を探るフォーラムが、11月25日、兵庫県と(公財)兵庫県青少年本部の主催により、神戸市内で開催されました。

少子化ジャーナリストの白河桃子氏による基調講演では、「成功する婚活への5ステップ」として「良い出会いには、ボランティア活動に参加するなど積極的に交友を広げることが大切」「高い条件を求めず現実を見て相手を選ぶことが必要」「断られてもくじけずに何度でもアタックを」など、最近の出会いから結婚にいたる事情について、示唆に富んだ話がありました。

その後、出会い支援事業を展開する民間・行政の担当者によるパネルディスカッションが行われ、活発な意見が交わされました。



(問) 県少子対策課 078-362-4232

認定こども園シンポジウム開催(11/19)

県と全国認定こども園協会共催による、認定こども園の役割と課題を考えるシンポジウムが姫路市で開催され、県内外より300名を超える関係者が参加しました。

藤原朋子内閣府参事官による行政説明、駒村康平慶應義塾大学教授による基調講演の後、パネルディスカッションでは、子ども・子育て新システムに向けた認定こども園のあり方について活発な議論が行われました。

駒村教授は、「社会の変化で、待機児童は潜在的需要を含め30~50万人になる。幼保一体化を含む新システムを構築しなければ対応できない」と呼びかけました。



(問) 県児童課 078-362-3215

大中遺跡まつりでオレンジキャンペーン!

11月5日(土)、加古郡播磨町の大中遺跡まつりの開催にあわせ、播磨町民生委員児童委員協議会が児童虐待防止を呼びかける「オレンジキャンペーン」を展開しました。

ブースでは、オレンジリボンのパネルやのぼりをたて、66名の民生委員児童委員、主任児童委員が会場内で啓発ティッシュ等を配布。

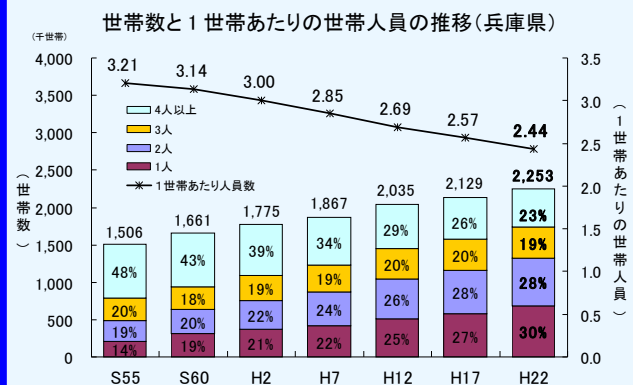
ステージでは、清原理事兼少子対策本部事務局長が「地域みんなで子どもを守りましょう」と民生委員児童委員とともに来場者に呼びかけました。



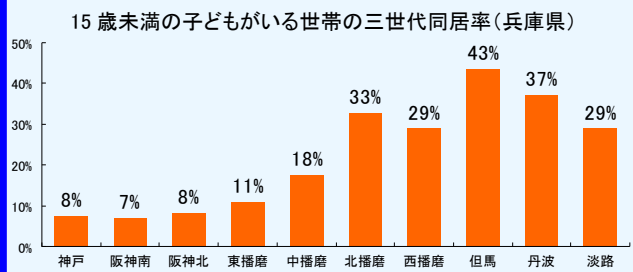
(問) 県児童課 078-362-3182

H22国勢調査の結果から②

兵庫県内の世帯数は、前回調査より5.8%増の225万世帯で、特に1人、2人世帯が全体の約6割を占めるなど世帯の少人数化が進んでいます。



また、15歳未満の子どもがいる世帯の三世帯同居率は但馬が最も高く、4割を超えているのに対し、阪神間は1割以下と地域間の差が顕著に現れています。



ひょうご絵本フォーラムを開催

県では、絵本の読み聞かせを推進し、子どもたちの夢と創造力を育む「ひょうご絵本プロジェクト」を展開しています。

その一環として、10月30日、兵庫県公館で「ひょうご絵本フォーラム全県大会」を開催し、子育て支援者、ひょうご絵本の伝承師など約300人が参加しました。

絵本編集者の松田素子さんが、絵本が店頭に並ぶまでの苦労話や、絵本作家との真剣勝負など、絵本の制作現場の数々のエピソードを披露したほか、松田素子さんと絵本作家の永田萌さんが対談を行い、自身の体験を交えながら、絵本の魅力について語り合いました。



(問) 県少子対策課 078-362-4185

HUGCaFE第2回シンポジウムを開催

今年5月に設立された、ひょうご地域子育て支援大学間連絡協議会(HUGCaFE)と県の共催によるシンポジウムが、11/23に西宮市で開催され、大学教員や学生、NPO関係者など約150名が参加しました。

午前に行われた玉川大学の大豆生田准教授による講演では、「ひろばに参加する親子が気軽に運営にも参加できるプログラムが大切」「サービスの提供だけではなく、『支え合い・学び合いの共同体』をどうつくるかが重要」など、自身の子育てや支援施設運営で得た経験に基づく示唆に富んだ話に、会場は感心しきり。

午後には3つのテーマで分科会が開催され、活発な意見が交わされました。

(問) 県少子対策課
078-362-4183



参加者募集

子育て応援企業人セミナー

企業経営者や人事労務担当役員などを対象とした、経営戦略としてのワークライフバランスの考え方や行政による様々な取組を紹介するセミナーを開催します。

- ◆日時 平成23年12月6日(火)
13:30~16:00
- ◆場所 神戸クリスタルタワー3F
(神戸市中央区東川崎町1-1-3)
- ◆定員 70名(先着順・参加費無料)
- ◆対象 企業経営者、人事労務担当役員など
- ◆内容 経営・人財コンサルタント中村喜一郎氏による講演、行政による取組紹介
- ◆申込 会社名、住所、電話、所属、氏名を記入し、FAXまたはメールで下記まで
- ◆問合 県少子対策課普及推進係
TEL 078-362-4184
FAX 078-362-3011
E-mail shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごミュージアム・フェア2011

播磨地区の博物館が一堂に会して、それぞれの館の特長やワークショップを競いあい、ミュージアムクリスマスを楽しんでいただく「ひょうごミュージアム・フェア2011」を開催します。(参加無料・先着プレゼント有り)

- ◆日時 平成23年12月23日(金)~25日(日)
10:00~17:00(最終日は16:00まで)
- ◆場所 兵庫県民会館2階 アートギャラリー
(神戸市中央区下山手通4-16-3)
- ◆内容 子どもから大人まで楽しめる各博物館主催のクリスマスやお正月にちなんだおもちゃなどの工作を行うワークショップと展示
- ◆申込 当日先着順申込(ワークショップにより10~200名の定員あり)
- ◆問合 兵庫県立歴史博物館
TEL 079-288-9011
FAX 079-288-9013



企業等の活動紹介

◇ 頑張る企業 ◇

株式会社大澤工務店(神戸市)(代表者:大澤一雅 事業内容:建設業)

同社では、建築現場から出る木の端材をきれいに整形したうえで、地域で子どもの遊び場を運営するNPOに木工材料として提供するなど、子どもたちの創造性を育むサポートを行っています。

また、社内では育児休業制度を導入するなど、子育てと仕事が両立できる環境を整えるとともに、高校生や大学生のインターンシップを男女問わず積極的に受入れており、実習を経験した大学生が、現場監督として就職を希望するなど、着実に取組の成果をあげています。



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部こども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご子育て

検索

ひょうご子育て
twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

ひょうご子育て応援メールも
好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。

